

# アメリカテキサス州 サウスレイク市と姉妹都市 の締結をしました

# 安全・安心を守る防災拠点

## 消防防災センター（仮称）の建設工事が始まる

**消防防災センターの概要**  
 □建設場所 登米市迫町森字平柳25番地ほか  
 □敷地面積 12,450.143㎡  
 □施設規模  
 ○消防庁舎兼消防防災センター  
 R C造3階建て（免震構造） 延床面積4,001.70㎡  
 ○訓練施設  
 R C造3棟 延床面積673.11㎡  
 （A塔：5階建て 207.73㎡）  
 （B塔：3階建て 339.88㎡）  
 （C塔：3階建て 126.00㎡）  
 □総事業費 21億8,000万円

**平成20年3月の完成を目指します**

市の防災・防災啓発の拠点となる「登米市消防防災センター（仮称）」の建設工事が、迫町森字平柳地内でいよいよ始まります。

この事業は、老朽化の激しい現消防本部庁舎に替わって、大幅に機能を強化した新たな防災拠点として整備するもので、平成5年度から協議を進めてきました。

施設は、消防本部や防災センターなどの機能を備えた複合防災拠点となるほか、総合的な消防訓練施設を3棟併設します。また、敷地内にはヘリポートも整備し、救急患者の搬送や林野火災時の消火機材の搬送基地などとして活用します。

建築工事は、今月から始まり来年5月にかけて杭工事、基礎工事などを実施。その後、鉄塔工事や仕上げ工事などが

行われます。平成20年3月まではすべての工事が完了し、4月の業務開始を目指します。

**総事業費は21億8千万円**

本工事は6月定例議会での議決を経て、工事費14億3千万円で発注。工事は工程ごとにそれぞれの業者が施工し、(株)山下設計東北支社(仙台市)が行います【表1】。

本工事はほか、用地の取得費、外構・臨時ヘリポート、高機能消防指令センター整備費などを含めた総事業費は、約21億8千万円を見込んでいます。

**【表1】 本体工事施工業者**

<b>【建築工事】</b>
(株)間組東北支店（仙台市）
(株)太田組（迫町）特定建設工事共同企業体
<b>【電気設備工事】</b>
栗原工業(株)東北支社（仙台市）
<b>【機械設備工事】</b>
三建設備工業(株)東北支店（仙台市）

**工事の安全願い 祈願祭を実施**



安全祈願祭でくわ入れする布施市長

建築工事の安全を願い、安全祈願祭が7月25日、建設敷地内で開催されました。発注者の布施市長をはじめ、地元行政区長、工事関係者ら約60人が出席。関係者によるくわ入れや玉ぐし奉てんなどが行われました。

市長は「この施設は、市民皆さんが安心して安全に暮らすための防災拠点。無事に工事が完了するようお願いいたします」とあいさつしました。

**問い合わせ**

消防本部消防総務課【事業担当】  
 ☎0220(22)0119  
 建設部建築課【工事担当】  
 ☎0220(34)2316

登米市と交流を続けてきたアメリカテキサス州サウスレイク市（人口約2万5千人）に、布施市長を団長とする訪問団20人が7月2日から9日までの8日間訪問しました。

サウスレイク市は、旧登米町が1990年から交流している市で、合併後、登米市が友好関係を引き継いでいます。今回の訪問は登米市として新たに教育や文化、産業経済など、幅広い分野で交流し、友好関係を続けるための調印をすることが目的。調印式は、サウスレイク市役所で3日に開催された市制施行50周年のイベントに併せて行われ、両市の市長・議会議長・国際交流協会長が姉妹都市締結協定書にそれぞれ署名しました。

登米市からは、市制施行50周年を祝うために、佐沼鹿踊伝承会員も訪問団員として参加。記念イベントで登米市の伝統芸能「佐沼鹿踊」を披露し、大勢のサウスレイク市民から拍手や歓声をもらいました。

4日に行われたサウスレイク市民との交流会では、日本から食材を持参して「はっと汁」を作って振る舞い、互いの国の文化を語り合うなどして交流を深めました。

もう一つの目的である今後の登米市における新たな国際交流や国際化の方策を研修するため、ニューヨーク市のCLAIR（自治体国際化協会）、JETRO（日本貿易振興機構）の両事務所を訪問。アメリカの地方自治制度や産業経済について学習してきました。

また、ニューヨーク宮城県人会との交流会なども行い、充実した研修となりました。

